ホルムアルデヒド放散等級
F★★★★

20年以上の
実績と信頼。

HANE ボードフィラー®

カーボンファイバー強化タイプの下地調整材

あらゆる
乾式下地の
下地調整に

- ▶ジョイント処理
- ▶凹凸補修
- ▶全面下地調整
- ▶仲介接着

HANEDA KAGAKU
株式会社 ハネダ化学

仕上げ材を フォローする HANE ボードフィラー®

ハネ ボードフィラーとは……

塗り壁の仕上がりの良否は、下地の出来具合によって決まります。
ボードフィラーは、下地の凹凸、不陸などを調整し、
さらに石膏ボードなどのジョイント部を補強して、
平らで十分な強度をもつ下地を作ります。
ボード下地への塗り壁仕上げは、ジョイント処理が悩みのタネでした。
ジョイントが分からないように平らにすること、しかもひび割れしないこと。
ボードフィラーはこの悩みを解決しました。
カーボンファイバーとポリマーの相乗効果によって、しなやかに強くキレツを防止します。
しかも、ペンキ下地の精度に仕上げることも可能です。

カーボンファイバー

カーボンファイバーと高級アクリル樹脂の相乗効果により、パネルジョイント部のキレツ発生を防止します。

あらゆる下地に対応 抜群の接着力

ボード以外の、モルタル・コンクリート・ベニヤ・フレキシブルボード・ケイカル板・ステンレス等にも高強度に接着します。

簡単目地処理

ボードの目地部分が簡単に処理でき、ボードの段差もスムーズに調整できます。

優れた施工性

抜群の作業性で塗り継ぎも解消し、階段周りや吹き抜けも一人で施工できます。

耐ひび割れ性に優れています。

下地パネルのジョイント部分に
発生するひび割れを防止します。

【耐ひび割れ性】
ボードフィラーを
ステンレスに塗って折り曲げても、
かなりの角度までひび割れが
発生しません。

従来の乾式下地処理材

ハネ ボードフィラー

品番 ＼ 項目	ボードフィラー＃2 中性タイプ	ボードフィラー#1 ポリマーセメント系	ボードフィラー#3 ポリマーセメント系
梱包内容	粉体 10kg　混和液 1.7kg	粉体 12kg　混和液 1.7kg	粉体 13kg　混和液 1.7kg
主成分	無機質フィラー 合成樹脂エマルジョン	特殊セメント・無機質フィラー 合成樹脂エマルジョン	特殊セメント・無機質フィラー・ ケイ砂・合成樹脂エマルジョン
特長	◆内装用で**中性タイプ**です。 京壁、聚楽など内装の あらゆる仕上げに対応します。 ◆塗りやすく、パテ感覚で 使用できます。 ◆乾燥後ペーパーがけができます。	◆**セメント系**で内・外装に使用 でき、様々な下地に、高強度に 接着します。 ◆塗りやすく、パテ感覚で 使用できます。 ◆乾燥後ペーパーがけができます。	◆**セメント系**で**ケイ砂７号**が 配合されています。 ◆付着強度はボードフィラーの 中で最も優れています。 ◆外壁の目地埋めに使用でき、 肉痩せがほとんどありません。
内外装	＊内装専用　※水まわり使用不可	＊内外装用　※水まわり使用可能	
クギ頭のサビ止め	必　要	不　要	
木粉系 聚楽 京壁・繊維壁	施工可能	施工不可	ボードフィラー＃1と＃3はセメント系です。 木粉系の聚楽、内装用京壁、繊維壁などの アルカリ性に弱い仕上げ材は施工できません。
下地処理 ベニヤ	ベニヤ下地に施工する場合は、当社姉妹品**『ハイポリックシーラー』**の原液を塗布し、 アク止めをしてください。(2回塗り)		
下地処理 ケイカル板	ケイカル板下地に施工する場合は、吸水が激しいので当社姉妹品**『ハイポリックシーラー』**を 同量の水で薄めた希釈液を塗布してください。(1回塗り)		

※ボードフィラーは、未塗装の杉・檜に付着すると洗ってもシミになります。特に＃1、＃3はセメント系なので十分な養生が必要です。

▶下地の種類と適用性

	#2	#1	#3
石膏ボード	◎	◎	◎
モルタル・コンクリート	◎	◎	◎
石膏プラスター	◎	○	○
ベニヤ・ケイカル板(専用シーラー塗布)	△	△	△
ＡＬＣパネル	○	○	○
エマルション塗料	○	○	○
大理石・御影石・陶器	○	○	○
磨き鉄板・ステンレス	△	○	○
聚楽・京壁・繊維壁(専用シーラー塗布)	△	△	△

◎最適　○適　△条件付きにて適

▶仕上げ材の種類と適用性

	#2	#1	#3
エマルション塗料	◎	◎	○
内外装薄塗材Ｅ	○	○	○
聚楽・京壁・繊維壁	◎	×	×
消石灰系漆喰・石灰系珪藻土入り仕上げ材(注)	△	△	△
石灰系・セメント系　厚塗り材	×	○	◎

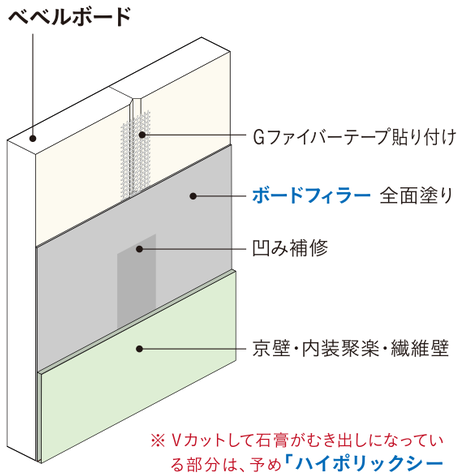
◎最適　○適　×不適

(注)※ボードフィラー仕上げ面は、吸水性が少ないので市販されている配合漆喰には、施工上不向きな製品もあります。

石膏ボード下地への施工方法

A あまり精度がいらない場合の施工方法

（京壁、聚楽、アンティックパスカＧＳ・ＧＬなど砂入りの仕上げ材）



※ Vカットして石膏がむき出しになっている部分は、予め**「ハイポリックシーラー」**の原液をハケ等で塗布し、乾燥させてください。

❶目地部の補強

目地部にGファイバーテープ(50㎜巾)を貼ります。

❷ボードフィラー塗布

ボードフィラーを全面に塗布します。(目地部はコテ圧をかけて詰め込むようにします。)

❸凹み部分補修

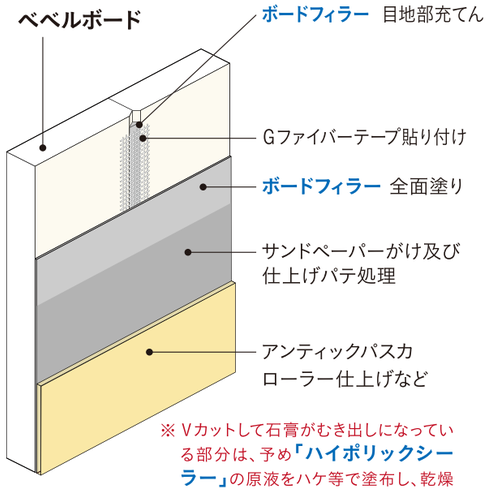
乾燥後、目地部が凹んでいる場合は**ボードフィラー**を再度付けおくり、平らにしてください。

❹各種仕上げ材

ボードフィラー乾燥後、各種仕上げ材を施工します。

B ペンキ下地のように精度を必要とする施工法

（アンティックパスカＳＰ、ペイントなどの仕上げ材）



※ Vカットして石膏がむき出しになっている部分は、予め**「ハイポリックシーラー」**の原液をハケ等で塗布し、乾燥させてください。

❶目地部の補強

目地部充てん。

鏝でかきとる。

ボードフィラーが乾燥後、目地部にGファイバーテープ(50㎜巾)を貼ります。

❷ボードフィラー塗布

ボードフィラーを全面に塗布します。

❸必要に応じて仕上げパテ

樹脂系仕上げパテを全面にしごき塗りし、乾燥後150番のサンドペーパーで平滑にしてください。

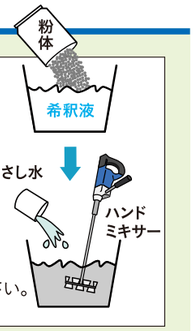
❹各種仕上げ材

アンティックパスカＳＰや各種ペイントをローラー等で施工します。

1 混和液を水でうすめる

（品番により水の量が違います）

2 混練り



❶の希釈液に粉体を加え、ハンドミキサーで、ダマのないペースト状になるまで十分に混練りします。その後、少量の水を加えて塗りやすい粘度にしてください。

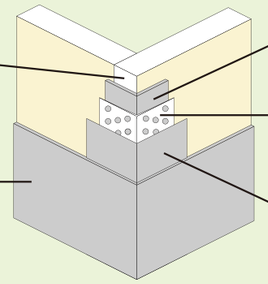
出隅の目地処理方法

(注)石膏がむき出しの場合

予め**「ハイポリックシーラー」**の原液を塗布し、必ず乾燥させてください。

④ボードフィラー 全面塗り

必ず、出隅処理部分のボードフィラーが乾燥硬化してから、ボードフィラーの全面塗りを行ってください。



①ボードフィラー 盛り付け

厚さ2～3㎜程度に盛り付けます。

②コーナー定木 取り付け

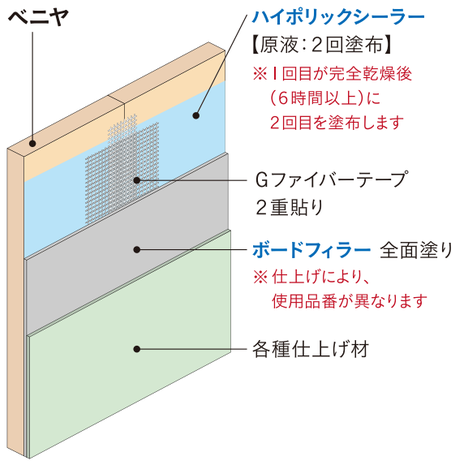
パンチングの穴からボードフィラーがはみ出てくる位に押さえ付け固定します。

③ボードフィラー すり付け

定木を塗りつぶします。

ベニヤ・ケイカル板下地への施工方法

ベニヤの下地調整方法



ハイポリックシーラー原液

アク止めが目的の場合は
「ハイポリックシーラー」の
原液を使用します。

❶アク止め処理 1回目

「ハイポリックシーラー」の
1回目を塗布します。完全に
乾燥させます。（約6時間）

2回目

1回目が乾燥したら、**2回目**
を塗布し、完全に乾燥させます。（約2時間）

❷目地部の補強

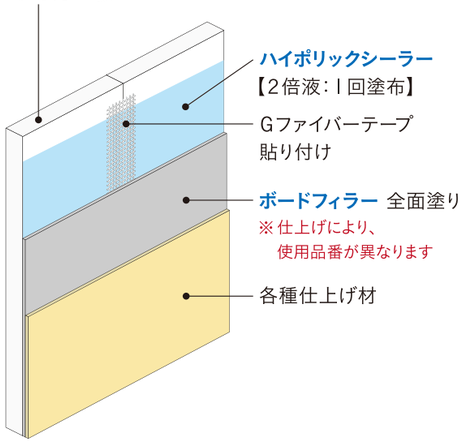
Gファイバーテープ
貼り付け（50㎜巾）

Gファイバーテープ
貼り付け（150㎜巾）

❸ボードフィラー塗布

ボードフィラーを全面に塗
布します。

ケイカル板の下地調整方法



ハイポリックシーラー2倍液

下地の吸水調整が目的の場合は
「ハイポリックシーラー」を
同量の水で薄めます。

❶吸水調整剤塗布

「ハイポリックシーラー」の
2倍液を塗布します。ケイカ
ル板の水引を防止します。

❷目地部の補強

目地部にGファイバーテープ
（50㎜巾）を貼ります。

❸ボードフィラー塗布

ボードフィラーを全面に塗
布します。

水性カチオン系のアク止め用シーラー

ハイポリックシーラー

F☆☆☆☆

◆荷姿

1kg×18本／ケース
4kg×6本／ケース

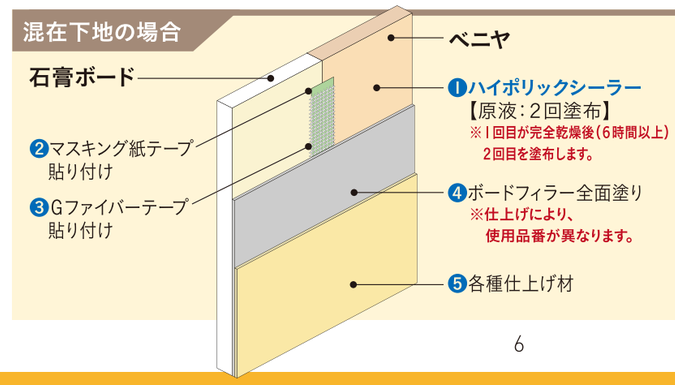
◆用途

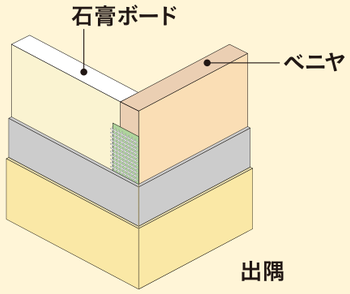
- ◆ ベニヤのアク止め
- ◆ 改装下地のシミ、アク止め及び吸水調整
- ◆ 石膏ボードの耐水化、表面強化
- ◆ ビニールクロス直接施工の専用シーラー
- ◆ ケイカル板の吸水調整用シーラー

◆標準使用量

下　地	使用量（原液換算）	希釈
モルタル・コンクリート・スレート	約100g／㎡	原液
ベニヤ・石膏ボード	約100g／㎡	
繊維壁などの吸水性の高い下地	約150g／㎡	
ケイカル板	約100g／㎡	2倍液

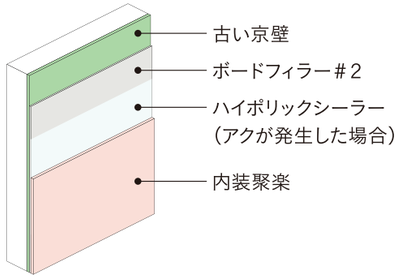
混在下地の場合





改修方法

古い京壁の塗り替え方法



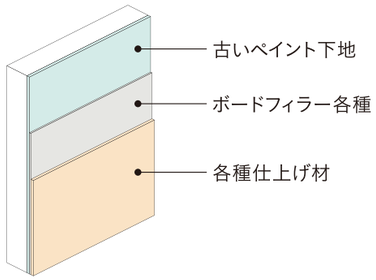
❶ 掃除機等で清掃。
弱い部分は剥がします。

❷ ボードフィラー#2を塗布し、乾燥してからアクが発生していないか確認します。

❸ アクが発生していたら、ハイポリックシーラー原液を塗布します。

❹ ハイポリックシーラーが乾燥したら、仕上げ材を施工します。

古いペイントの下地調整方法



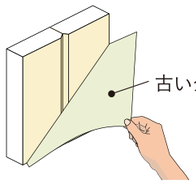
❶ 中性洗剤を併用し、スポンジタワシで古いペイントを清掃します。弱い部分はケレンしてください。

❷ ボードフィラーを全面に塗布します。下地の凹凸が激しい時は2回塗りしてください。

クロスのリフォーム

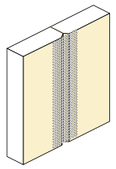
クロスを剥がす場合（紙クロス、布クロス、ビニールクロス）

❶クロスを剥がす



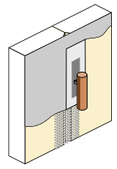
クロスの表紙は容易に剥がれますが、裏紙は下地に付いたまま残ります。クロス専用の剥がし剤で取り除いてください。

❷Gファイバーテープ貼り付け



ボード面が乾燥したら、ジョイント部分にGファイバーテープ（50㎜巾）を貼ります。

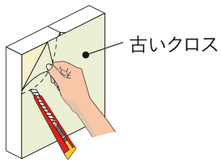
❸ボードフィラー塗布



ボードフィラーを全面に塗布します。

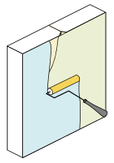
クロスを剥がさない場合（ビニールクロスのみ）

❶クロスの剥がれ部分除去



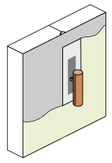
チリや継ぎ目に剥がれがある場合には、カッターナイフで少し大きめに切り取ってください。

❷ハイポリックシーラー塗布



ハイポリックシーラーの原液をローラーもしくは刷毛で縦横均一に塗布してください。

❸ボードフィラー塗布



ハイポリックシーラーが乾燥後（約2～3時間）ボードフィラーを全面に塗布します。

性能

試験項目		品番 ボードフィラー＃2（中性タイプ）	ボードフィラー＃1（セメント系）	ボードフィラー＃3（セメント系・ケイ砂配合）	備考
凝結時間（時-分）	始発	—	5時間30分	5時間30分	JIS A 6203
	終結	—	8時間00分	8時間00分	
保水性(%)	20分	70	75.5	73.5	
曲げ圧縮強さ（N／㎟）	曲げ	—	5.0～7.0	5.0～7.0	
	圧縮	—	22.0～27.0	22.0～27.0	
単位容積質量(kg/L)	配合混練物	1.7	1.7	1.8	
下地との付着強度（N／㎟）	セメントモルタル	1.0～1.5	1.0～1.5	1.5～2.4	建研式引張試験器による 塗布厚：1.0㎜ 養生7日 20℃／65%RH
	石膏ボード	0.6～0.8	0.6～0.8	0.6～0.8	
	ベニヤ合板(注①)	0.6～1.0	0.6～1.0	0.6～1.3	
	太平板･フレキシブルボード	0.5～1.0	0.8～1.2	0.8～1.2	
	大理石･御影石･テラゾー	1.2～1.8	1.2～1.8	1.5～2.5	
	陶･磁器タイル施釉面･ガラス	1.0～1.6	1.2～1.8	1.5～2.5	
	鉄板･亜鉛メッキ板･ステンレス	0.6～1.0	1.0～1.5	1.0～1.5	
	ALC板	0.7～0.8	0.7～0.8	0.7～0.8	
	ケイカル板(注②)	0.6～0.9	0.6～0.9	0.6～0.9	
	EPペイント塗装面	0.8～1.2	1.0～1.5	1.0～2.0	
長さ変化率(%)	材齢4週	—	0.060	0.062	JIS A 6203
耐ひび割れ性		ひび割れなし			JIS A 6916に準じる
衝撃耐性		ひび割れ及び剥がれなし			

（注①）「ハイポリックシーラー」原液を100g／㎡塗布
（注②）「ハイポリックシーラー」2倍液を200g／㎡塗布（原液換算100g／㎡）
※カタログ記載のデータは標準値であり、保証値ではありません。

硬化までの時間

ボードフィラーの塗布後、仕上げ材の施工が可能になるまでの硬化時間の目安は、右表の通りです。ボードフィラーが乾燥色になり、コテで削れなくなるまで養生してください。

気温	塗り厚	硬化時間
5℃	0.8㎜	4時間
20℃	0.8㎜	3時間
30℃	0.8㎜	2時間

標準使用量

塗り厚	0.8㎜
標準施工面積	12㎡

※下地の状況により、施工可能な面積は変わります。

施工上の注意事項

①専用の混和液は必ず全量使用してください。量が不足すると、硬化不良などの原因となります。
②気温が5℃以下での施工は、避けてください。やむをえず施工する場合には、ヒーターなどで室温を上げる処置をしてください。
③木粉系聚楽のようにアルカリ下地に弱い壁材はボードフィラー＃2（中性タイプ）をご使用ください。
④配合漆喰の種類により、ボードフィラーの上に直接施工が不向きな製品があります。
　ボードフィラーは水引きが少ないので、漆喰の表面に樹脂浮きが発生し、平滑なコテ押さえができないことがあります。
　配合漆喰のかわりに当社製品『カーサプランカ』または『アンティックパスカ』をご検討ください。
⑤一般的に乾燥の遅い壁材は、除湿機や赤外線ヒーターなどで乾燥を早めてください。
⑥ボードフィラーには他のものを一切混入しないでください。
⑦ボードフィラーは直射日光を避け、5℃以上の湿気の少ない室内に保管してください。
　常温で6か月が、貯蔵可能期間です。

安全上の注意事項

【使用上の注意】
●取扱い中はできるだけ皮膚に触れないように注意し、必ず保護具（保護手袋、保護眼鏡マスク等）を着用し、作業してください。
●取扱い中の作業場所は、換気をよくしてください。
●取扱い後はうがい及び手洗いを十分に行なってください。
●取扱い後の器具類は早めに水洗いしてください。

【応急処置】
●目に入った場合：直ちに多量の水で15分以上洗眼し、医師の診断を受けてください。
●皮膚に付着した場合：直ちに水でよく洗い流し、必要に応じて医師の診断を受けてください。
●誤飲した場合：無理に吐かせず、水で口の中をよく洗浄した後、医師の診断を受けてください。

【保管上の注意】
[ボードフィラー、粉体]
●雨露のかからない湿気の少ないところに保管し、地面に直接放置しないでください。
●材料は6か月以内に使い切ってください。
[ボードフィラー、混和液]
●凍結や直射日光を避ける為に必ず室内（5～30℃）に保管してください。
●開封後の使用残りは密封した状態で保管してください。

【輸送上の注意】
●ボードフィラーを粉体、混和液とも内容物の漏れがないことを確認し、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行ってください。
●湿気、水漏れに注意してください。

【廃棄上の注意】
●容器に残った混和液を廃棄する場合には、セメントを混入し、固化させてから許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託してください。（焼却はしないでください。）
又、使用済空容器を廃棄する場合には、都道府県条例に基づき焼却するか、混和液の場合と同様に産業廃棄物処理業者に処理を委託してください。

【漏出時の注意】
●飛散した粉体は掃除機で吸い取るか、袋などに回収してください。
●流出した混和液は流路を毛布、土嚢等を用いてせき止め、バキューム等で吸い上げるか少量の場合はおが屑、ウエス、乾燥砂等に吸収させて回収し、焼却してください。
●粉体が混合した排水は中和、希釈処理などを行い、河川等に直接流出しないようにしてください。

【環境への配慮】
●混和液が海、河川、湖沼、池、下水道、公共用水域へ流入すると、広範囲にわたって汚濁汚染することとなるので、万が一、流入した場合は地方自治体の担当者に直ちに連絡してください。
又、地下水を汚染するおそれのある地中には捨てないでください。

取扱い又は使用に際し、安全データシート（SDS）、施工要領書を必ずお読みください。

【技術関係問い合わせ】

◆ **株式会社ハネダ化学　技術研究所**
TEL.0555-84-8070　FAX.0555-84-8071

◆ **株式会社ヤブ原**
〒104-0032　東京都中央区八丁堀2-14-4
TEL.03-3552-4310　FAX.03-3553-2045
info@yabuhara.co.jp　http://www.yabuhara.co.jp

●東 京 支 店　TEL.03-3552-4315
●北関東支店　TEL.0480-58-6311
●南関東支店　TEL.042-700-1200
●大 阪 支 店　TEL.06-6385-6211
●名古屋支店　TEL.052-703-0303
●仙 台 支 店　TEL.022-298-6165
●福岡営業所　TEL.092-629-0416
●札幌営業所　TEL.011-731-0222

◆ **販売代理店**

A2018.3.2,000